

# ブルガリアン・ヴォイスが何故世界を魅了するのかー

ブルガリアン・ヴォイスの魅力のひとつに、誰しもが受ける衝撃的で迫力のあるハーモニーがあります。立体感があり、奥行きがあり、さらに透明感があります。耳で聴くというより、体全体に沁み込んでくるという感じの歌声です。

ヴォイスには心の浄化作用と癒し効果もあります。迫力のあるハーモニーの源は、土着のポリフォニーやドローン形式にあります。

ポリフォニーの構成は3パート（ドローンとして音を持続させるパート、主旋律パート、副旋律パート）から成ります。するとそこには、当然不協和音が生じます。地声で、しかもノン・ビブラートで歌うことにより、ベルカント唱法では出せない強烈なハーモニーが生まれるのです。もうひとつの魅力は、美しく流れるようなブルガリアン・ヴォイスがブルガリア独特の変化に富んだリズム（5拍子、7拍子、9拍子、11拍子等）で歌われている点でしょう。さらにもうひとつの魅力として、ブルガリアの各地方に伝わる美しいメロディーがあります。古代トラキア文明から東西文化の交流地点であり、幾多の民族が行き来してきたという歴史的背景から、そのメロディーには様々な要素が混ざり合っています。500年にも及ぶオスマントルコの支配の下、ブルガリアの大地は、悲しみも、苦しみも、安らぎも、喜びも、すべてを経験してきました。その大地でブルガリア人は、自分たちの歌を守り続けてきました。内面から湧き出る歌姫たちの美しさ、優しさ、純粋さ、陽気さがメロディーにさらなる深みを加えています。ブルガリアン・ヴォイスの優しく包み込むような包容力の秘密がそこにもあります。



## ❖アバガル・カルテット -プロフィール-

ブルガリアン・ヴォイス「アバガル・カルテット」は、ブルガリアのシュウメン州にあるKonstantin Preslavsky大学出身の若く創造的で才能溢れる女性カリナ、ステフカ、ソフィア、ヒリスティナの4人編成。彼女達は独創的かつ珍しい唯一無二の音楽スタイルで、たとえとても短い時間のステージであっても聴衆を虜にってしまう魅力がある。

ブルガリアで最も権威ある世界的にも有名なブルガリア人シンガー達のマスタークラスに参加し、頭角を現し、その名を国内で知られることとなった。その後、様々な国の音楽祭にも参加、著名なソリストとの共演を多数行っている。

- 国立音楽合唱団フィリップ・クーテフ所属ソプラノ歌手Desislava Petrova
- 民謡合唱団トラキア所属Nevyana Ganeva
- 室内楽団“Arsmusica Shumen”や“Shumen”のアンサンブルに参加
- 2007年 フランスとフィンランド国際青少年祭
- 2008年 ポーリフェスタ
- 2010年 サルディーニャ（イタリア）「Isole che Parlano」
- 2011年 Chamois
- 2017年 Piedicavallo Festival
- 2017年 プラリ（イタリア）Pralibro book festival
- 2012年 ビドゴシチ（ポーランド）科学フェスティバル
- 2013年 フランス国際民謡フェスティバルVoiron-Chartreuse
- 2016年 ブダペスト（ハンガリー）アカペラミュージックフェスタ

彼女達のレパートリーは、ブルガリアの春を歌うような純粋な民族伝承歌から現代曲のアカペラ楽曲まで多様である。

ブルガリア国营ラジオからCD、DVD「For Good」をリリースしている。



## ❖ナビゲータ

\*ブルガリアの文化的魅力、ブルガリアン・ヴォイスの見所などを分かりやすく解説

ブルガリア民俗舞踊・音楽研究者

## 石坂史朗氏

19才の時、民俗舞踊に出会う。大学では社会学（社会教育）を学ぶ。

踊りの勉強のため、ブルガリアの首都ソフィアに渡る。シヨプスキーアンサンブルに入団（民族舞踊と合唱）。

1986年、国立プロヴディフ芸術学校に入学（民族舞踊科）。

日本人として初めて、ブルガリアの踊りの理論と実践を学び、ダンサーのためのブルガリア式準備運動（エキズリスシス）、混合拍子のターン、ホロ、舞台芸術等を日本に紹介する。ブルガリアの踊りの基礎をこの学校で習得。現在、ブルガリアの文化を紹介する活動をおこなっている。

毎年、春にブルガリアダンスセミナーを開催。踊りだけではなく、民族音楽、民族楽器、民族衣装、ブルガリア料理等も紹介、ブルガリアを丸ごと紹介する活動をしている。

## ❖ゲスト奏者

ガドゥルカ  
（ブルガリアの伝統的な弦楽器）奏者

## ヨルダン・クラシミロフ・マルコフ氏



## ブルガリア共和国

ブルガリアは、黒海の海岸線、山岳の内陸部、ドナウ川をはじめとする河川など多様な地形を誇るバルカン半島の国です。ギリシャ、スラブ、オスマン帝国、ペルシャの影響を受けた文化のつらばいで、伝統舞踊、音楽、衣装、工芸などの豊かな遺産を有しています。ドーム型のヴィトシャ山のみもとには建都が紀元前5世紀にまでさかのぼる首都ソフィアがあります。



- 面積：11.09万平方キロメートル（日本の約3分の1）
- 人口：717万人（2015年、世界銀行）
- 首都：ソフィア
- 民族：ブルガリア人（約80%）、トルコ系（10%）、ロマ（推定約10%）等
- 言語：ブルガリア語
- 宗教：大多数はブルガリア正教（ギリシャ正教等が属する東方教会の一派）

